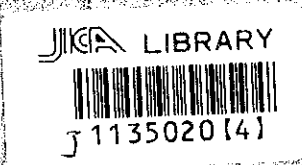


エジプト国 カイロ大学看護学部プロジェクト 計画打合せ調査団報告書

(1995年)
平成7年8月



国際協力事業団 医療協力部

医協二
J R
95-29

エジプト国カイロ大学看護学部プロジェクト計画打合せ調査団報告書

平成7年8月

国際協力事業団

105
129
111
LIBRARY



1135020 [4]

エジプト国
カイロ大学看護学部プロジェクト
計画打合せ調査団報告書

平成7年8月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

エジプト国カイロ大学看護学部プロジェクトは1994年4月1日から1999年3月31日まで5年間の協力期間で、同国の看護レベル向上を目的に実施されているものです。また、同国では看護婦の絶対数が不足していることから本プロジェクトを通じ、看護婦の一層の養成を推進することが望まれています。

1995年5月、協力開始後約1年が経過し、上記技術移転活動について先方とも調整する必要が生じたところ、国際協力事業団は本プロジェクト専門家の活動状況、相手国側の対応状況等を確認し、プロジェクト実施上の問題点把握と今後の対応策について両国双方で協議することとし、4月27日から5月7日までの日程で札幌医科大学保健医療学部長近藤潤子氏を団長として計画打合せ調査団を派遣しました。本報告書はその調査結果を取りまとめたものです。

ここに、本調査にご協力を賜りました関係各位に深甚なる感謝の意を表しますとともに、プロジェクトの効果的な実施のために今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成7年8月

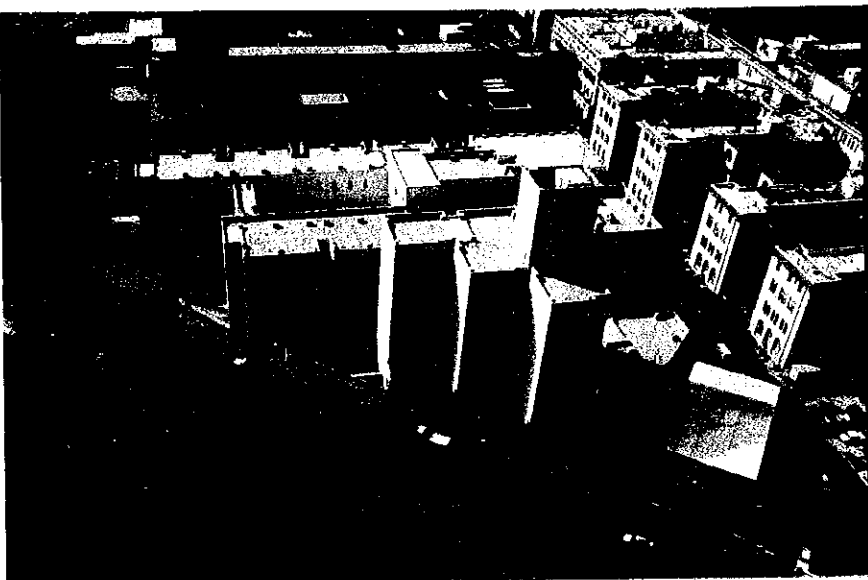
国際協力事業団
医療協力部長 平良 専純



カイロ大学医学部長、看護学
科長、調査団長によるミニッ
ツへの署名

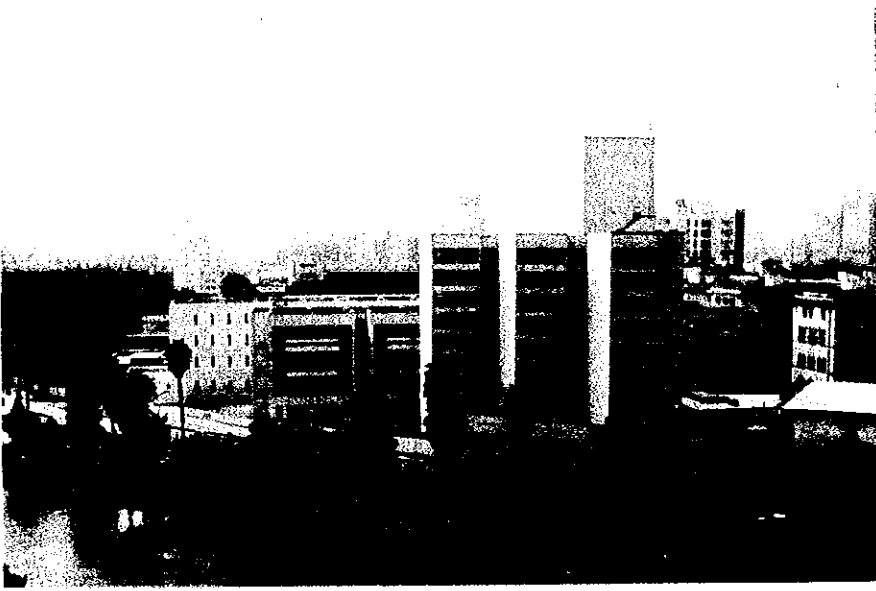


同上

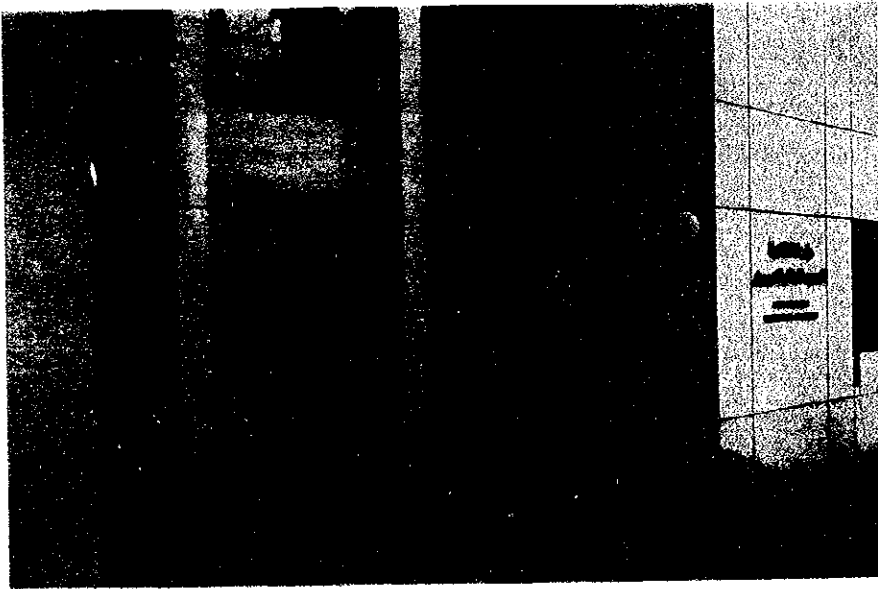


看護学科校舎

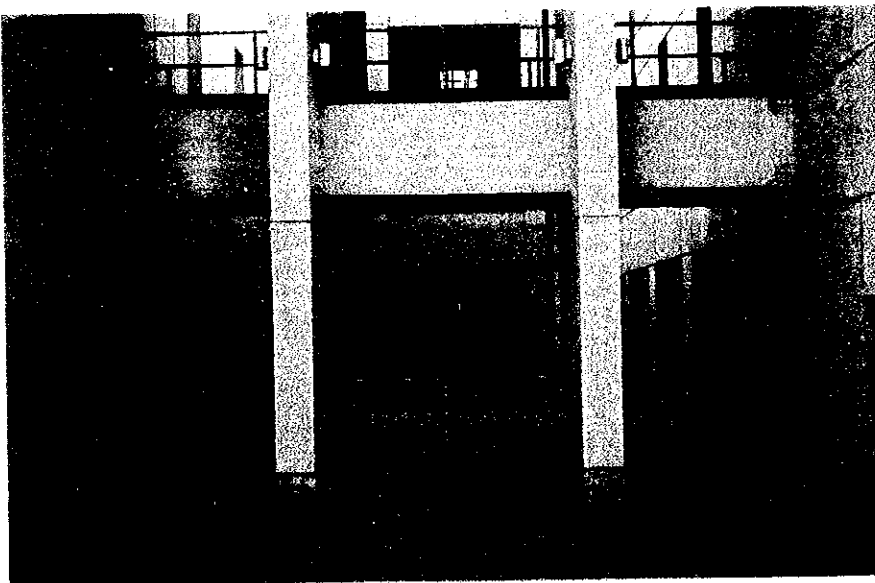
看護学科校舎



同上



同上



目 次

序 文
写 真

1. 調査団派遣の経緯	1
1-1 派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査日程	2
1-4 主要面談者	2
2. 要約	4
3. 暫定実施計画の進捗状況	6
3-1 協力部門活動	6
3-2 建物施設等（メンテナンス状況含む）	7
3-3 専門家派遣事業	8
3-4 研修員受入れ	8
3-5 資機材供与及び利用状況	9
3-6 ローカルコスト負担事業	9
4. 暫定実施計画及び詳細年次計画	10
5. 実施運営上の問題点	11
附属資料	
① ミニッツ	15
② カイロ大学看護学科資料（和文）	24
③ 四半期定例会議資料	47
④ カイロ大学看護学科資料（英文）	51

1. 調査団派遣の経緯

1-1 派遣の経緯と目的

エジプト・アラブ共和国（以下、エジプトと略す）では、医師数に比べて看護婦が不足（登録数では医師が8万4,000人に対して看護婦が5万2,000人）しており、医療施設運営に支障を来していること、看護技術の低水準及びその養成施設の未整備等が保健行政上解決すべき国家課題となっており、国家開発計画の重点政策の1つとして掲げられている。

かかる背景のもとに、我が国は同国に対し公衆衛生看護を主体として、看護教育研究プロジェクト（1978～83年）及びカイロ大学小児病院（1983～86年）での臨床看護の技術移転を通じ看護婦の人材養成協力事業を実施してきた。

エジプト側はこれらのプロジェクトを高く評価し、看護教育における指導者の質の向上・育成及び周辺国に対する看護教育の指導者的役割を果たすべくカイロ大学看護学部を拠点とし我が国に対し、無償資金協力による施設建設を含めプロジェクト方式技術協力を要請越した。

これを受けて我が国は平成5年10月15～24日まで札幌医科大学・近藤保健医療学部長を団長とする実施協議調査団をエジプトに派遣し、本プロジェクトのR/Dを取りまとめるとともに、平成6年4月1日から5年間にわたるプロジェクト方式技術協力を開始することとなった。また、無償資金協力による看護校舎については平成7年4月13日に開所式が行われ使用が開始されている。

については、以上の経緯及び平成7年4月でプロジェクト開始後1年を迎えることから、1年間の計画の取りまとめ及び今後の計画についてその展望を先方と協議するために今回、計画打合せ調査団を派遣することとした。

1-2 調査団の構成

	担 当	氏 名	所 属
団長	総括	近藤 潤子	札幌医科大学保健医療学部長
団員	看護教育	丸山 知子	札幌医科大学保健医療学部看護学科長
団員	臨床看護	照井 洋子	札幌医科大学附属病院看護部長
団員	図書館運営	森田 克己	札幌医科大学附属図書館事務長
団員	計画管理	青木 利道	国際協力事業団医療協力部医療協力第二課職員

1-3 調査日程

日 順	月 日	曜日	移動及び業務
第1日	4・27	木	移動 成田→ロンドン (BA006)
2日	4・28	金	移動 ロンドン→カイロ (BA155)
3日	4・29	土	カイロ大学長表敬、医学部長表敬、看護学科長表敬・打合せ
4日	4・30	日	在エジプト日本国大使館・JICA エジプト事務所表敬・打合せ（事務所関係者、専門家及び調査団との打合せ）、看護学科校舎視察
5日	5・1	月	保健省看護課表敬、カイロ大学看護学科協議（本プロジェクトの進捗状況に係る現状と今後の展望についてエジプト側のプレゼンテーションを希望）
6日	5・2	火	看護学科関係者とプロジェクトの進捗状況及び展望に関する協議
7日	5・3	水	同上
8日	5・4	木	協議結果に係る議事録の作成及び調印、在エジプト日本国大使館・JICA エジプト事務所報告
9日	5・5	金	移動 カイロ→パリ (AF800)
10日	5・6	土	移動 パリ発 (JL416)
11日	5・7	日	成田着

1-4 主要面談者

(1) エジプト側

カイロ大学看護学部

Dr. Eman Mourad (学部長)

Dr. Aisha Awad (副学部長)

Dr. Shadia Sharaf (副学部長)

Dr. Samira El Sharkawy (基礎看護学科)

Dr. Nawal Hanna (内科外科看護学科)

Dr. Amal Garas (内科外科看護学科)

Dr. Neemat Yousief (小児看護学科)

Dr. Yousseria El Sayed (母性看護学科)

Dr. Saneya Rizk (公衆衛生看護学科)

Dr. Enayat Khalil (精神看護学科)

Dr. Mahasen Mageed (看護管理学科)

カイロ大学医学部

Dr. Mootaz El Sherbiny (医学部長)

(2) 日本側

在エジプト日本国大使館

片倉 邦雄 特命全権大使

八尋 明彦 一等書記官

JICA エジプト事務所

篠浦 烈 エジプト事務所長

石岡 秀敏 エジプト事務所員

カイロ大学看護学部プロジェクト

立山 恭子 チーフアドバイザー

近藤 厚 業務調整員

2. 要約

- (1) 本プロジェクトは平成6年4月1日～平成11年3月31日までの5年間の協力期間であり、現在、プロジェクト開始後1年を経過したものである。これまで1年間の協力実績としては、長期専門家2名及び短期専門家9名の派遣、研修員3名(うち1名は看護学部長であり準高級扱い)の受入れ及び約2,600万円の機材供与となっている。協議冒頭、先方看護学部長より調査団に対してこれまでの協力実績に対して感謝の意が表せられた。
- (2) 本プロジェクトの活動については平成5年10月20日に実施協議調査団と先方看護学部の間で取り交わされたR/D及びTSIに基づいて行われている。TSIのうちPCM(Project Cycle Management)については一切の変更はなく、当初目的、アウトプット等を継承していくことが確認された。

また、専門家の派遣時期、研修員の受入れ、供与機材の受入時期を簡潔にスケジューリングしたTSIについては、基本的に変更はなかったが前回のものより詳細なものを作成しミニッツに添付した。
- (3) エジプト側より以下の事項について日本側に要望があった。これらについては、今回の調査団で決定することはできないため、合意事項ではなくエジプト側の要望としてミニッツの中に記載した。
 - ① 学校管理、学校運営、図書館運営分野へのコンピューター導入
 - ② 看護学部概要(アラビア語版)作成
 - ③ 看護学部の運営に関する訓練コース開設
 - ④ PHCユニット、看護実習室、解剖研修室、語学研修室、コンピューター演習室、図書館、視聴覚教材作成室に対する技術支援
 - ⑤ マニュアルの作成
 - ⑥ ワークショップ、セミナー実施への支援
 - ⑦ 卒後教育に関する支援
 - ⑧ 視聴覚教材作成に関する支援
 - ⑨ 学内研究成果の出版に関する支援
- (4) エジプト側より、本件プロジェクトのカウンターパート研修の枠(現在は年間3名の枠を予定、今年度は4名)を増やしてほしい旨要望があったので、合意事項ではなく先方からの要望事項としてミニッツに記載した。
- (5) 日本側より以下の事項についてエジプト側が適切な処置を取るよう要望した。
 - ① 学部としての位置付けの獲得
 - ② 日本で研修を受ける研修員の航空チケットに課せられている税金(現在は個人負担)への措置
 - ③ 専門家携行機材の通関業務の促進(現在、専門家の携行機材は引き取りに時間を要することも多い)
- (6) エジプト側より、本件プロジェクト実施に必要な十分なローカルコストを獲得するべく引き続き努力していく旨表明があった。特に看護学部完成に伴い、今後、維持管理費の増加が予想される

ことから、必要な人員の雇用、校舎維持管理費の適切な予算配置、各種自習室等、実験室、車両等への維持管理費配分等が今後重要となる。

- (7) エジプト側は学部長始め本プロジェクト実施に非常に積極的であり、看護学部のカリキュラム等年間計画、今後4年間の活動計画等を綿密に作成しており、プロジェクトに関する関心の高さが窺い知れた。
- (8) 研修に関していえば、平成6年度は視察型研修として看護教育分野2名を受入れ、日本国内の関連機関と協議等を行い、関係者の本プロジェクトに関する理解を深めることに貢献した。また、図書館分野の研修員1名の研修を札幌医科大学附属図書館にて実施し、今回の調査期間中、同研修員に研修成果についての聴取を行った。同研修員は日本での研修成果を業務に活用しており、図書館司書の長期専門家派遣、図書館分野の研修員の受入れを組み合わせることによって一層有効な技術移転が図れるものと期待される。
- (9) 今後、日本側が本プロジェクトへの適切な協力（投入）を継続し、エジプト側との調整を図っていけば、R/Dで挙げられた当初目的達成に向けて、大きな協力成果が期待できるものと判断された。

3. 暫定実施計画の進捗状況

3-1 協力部門活動

3-1-1 看護分野

本プロジェクトの目的と活動内容はPCMに明記してあるように看護学科の機能を強化し、看護教育に貢献し、有能な看護要員を国民のヘルスケアのために輩出することにある。プロジェクトは1994年4月に開始されたが、1994年度の第1四半期においてはPCMの確認を先方及び日本側専門家で行い、JICAのプロジェクト方式技術協力を先方が理解するよう努めた。日本側のいわゆる「要請方式」は諸外国、国際機関等のオファー方式に慣れている看護学科スタッフにはなかなかなじみ難く、理解させるのが困難であった。

第2四半期においては、1994年9月に近藤教授（札幌医科大学保健医療学部長）が約2週間来訪したので、シンポジウムで意見交換を行うとともに看護教育カリキュラム見直しと再構築について先方と活発な意見交換を行っている。

第3四半期においては、技協委員会を先方との間で月1回開催し、1995年度の供与機材の選定、活動計画の作成等を行っている。また、小児看護専門家（札幌医科大学附属病院佐々木純子）、看護教育専門家（同若山登美子）が技術指導を行い、理論だけではなく実地的な技術の普及にも努めた。また、供与されたパソコンの研修についてコースを開設し、3回で計35名が受講している。

なお、第3四半期については以下の活動が実施された。

- (1) 第一学期末試験、2週間の休暇の後、第二学期が2月3日から開催された。この間、パソコン研修コースが引き続き開催された。
- (2) 2月に無償資金協力により建設された新校舎の引き渡しが日本側建設業者よりあり、校舎の管理がエジプト側に移った。
- (3) 2～3月にかけて新校舎に什器類の搬入が行われた。また、機材の引き渡し、点検、操作方法の研修等多くの業務が集中した。
- (4) 図書館の移動と新図書館の開設準備が精力的に行われた。図書館運営の研修のため日本で3か月間の研修中であったヤスミン講師が1月には帰国したので、図書館整備のため司書を指導した。また、新図書館は3月中旬には開館し業務を開始した。
- (5) 3月27、28、29日の3日間にカリキュラムについてのワークショップを4名の短期専門家（札幌医科大学保健医療学部近藤潤子学部長以下、深沢華子、石塚百合子、横手芳恵の保健医療学部スタッフ）で実施した。これは看護学部教員の研修プログラムであり、計画、実施については全て、看護学部教授達により主体的に行われ、日本側スタッフが支援した。学内約60名のほぼ全スタッフが参加した初めてのワークショップとして先方に評価された。

以上、本プロジェクト開始後の1年間の活動について概観を記した。本プロジェクトは1994年4月より開始されたが、無償資金協力による校舎の使用開始までにはほぼ1年を費やしたため、新校舎を使っただけのプロジェクト活動開始は緒についたばかりと考えている。これまでの1年間については上記のように、日本側プロジェクトの方法論について先方の理解を得るのに時間を要したが、その後、日本からの短期専門家の派遣、日本への研修員の派遣等を通じて先方も日本側のプロジェクト方式技術協力のやり方について慣れてきた面も見受けられるようになってきた。

今後、開始後1年を経て、新校舎に移るとともに先方とも本プロジェクト実施に係る協調体制を密にし取り組んでいくこととしたい。

3-1-2 図書分野

無償資金協力により建設された看護学部校舎は平成7年4月から使用されている。同校舎には看護図書館が併設されており、以下のとおりの規模となっている。

職員数	10名(2交代制)
蔵書数	7,000冊
受入雑誌種類	19種類
配架方法	完全開架方式
利用方法	館内閲覧、館外貸出
現行業務	カウンター 図書分類番号、図書請求記号付与 図書台帳作成 図書目録カード作成、ファイル

一方、その内容としては、例えば7,000冊の図書のほとんどは出版年度の古いものであって最新の知見を収めた書籍が極端に少ない、雑誌についても展示されている19種類の雑誌はほとんどが個人からの寄贈であり、定期的な購入によるものは1冊もない現状となっている。雑誌に至っては最新の号といえども4、5年前のものとなっている。係る現状から判断すれば、最新の看護学図書・雑誌の購入・整備が急務であるといえる。また、図書館内については例えば、

- (1) 配架状態が悪く目的の書籍を探すのに時間を要する、
- (2) 書架見出し、図書分類表、資料配置図、館内案内図などのサインが少なく利用者の効率的利用の阻害要因となっている、
- (3) 図書目録カードを引っ越しの際に紛失したとのことで現在、新しいものを作成中であるなど図書館機能に不備が目立つ、

等、改善が必要である。今後、図書館分野の専門家派遣により技術移転を行うと同時に図書館運営上必要な機材については供与機材等の対象とするなど支援が必要と判断される。

いずれにしても、本年4月の新図書館移行後は図書館分野の短期専門家を派遣していないので、早期に図書館分野の短期専門家を派遣し、現状を調査の上問題点を整理していく必要がある。

3-2 建物施設等(メンテナンス状況含む)

「カイロ大学看護学部施設改修計画」として日本の無償資金供与により建設された看護学部校舎は1995年2月、カイロ大学看護学部へ引き渡された。総工費は32億円(家具、機材等含む)である。4階建ての校舎及び9階建ての学生寮より構成されている。

カイロ大学の各地に点在していた看護学部は同年2月末日に移転を終了し、1995年4月にはスーザン・ムバラク大統領夫人を招いての開校式が行われた。

施設(校舎)利用状況は引き渡し直後であるにもかかわらず良好であり、学生寮に関しては新年度(1995年9月)からの入寮が予定されている。

今後の建物施設に係る保守管理に関してはエジプト側より、必要な人員の雇用、校舎及び設備維持管理費の適切な予算獲得がカイロ大学に申請されており、今後も良好な状態を維持するべく努力されている。

また、施設保守管理に係る専門家派遣が平成7年に予定されている。

3-3 専門家派遣事業

本プロジェクト開始後の専門家派遣の状況は以下のとおりであった。

長期専門家

チーフアドバイザー	立山 恭子	1994・04・23～1995・10・22	なし
業務調整	近藤 厚	1994・04・23～1996・04・22	青年海外協力隊

平成6年度短期専門家

図書館運営管理	神戸 恵子	1994・04・28～1994・05・08	日赤看護大学
図書館運営管理	尾崎 恵子	1994・04・28～1994・05・08	札幌医科大学
看護教育	近藤 潤子	1994・09・17～1994・10・08	札幌医科大学
成人看護	若山登美子	1994・12・02～1994・12・11	札幌医科大学
成人看護	佐々木純子	1994・12・02～1994・12・25	札幌医科大学
母性看護	近藤 潤子	1995・03・24～1995・04・03	札幌医科大学
地域看護	深沢 華子	1995・03・24～1995・04・03	札幌医科大学
小児看護	石塚百合子	1995・03・24～1995・04・03	札幌医科大学
成人看護	横手 芳恵	1995・03・24～1995・04・03	札幌医科大学

平成7年度短期専門家

施設維持管理	行武 哲郎	1995・05・12～1995・08・11	日建設計
図書館運営	斎藤 温子	1995・06・07～1995・07・04	無職
コンピューターシステム	大柳 俊夫	1995・06・18～1995・07・04	札幌医科大学

3-4 研修員受入れ

看護学	Mourad Eman	1994・10・23～1994・11・19	準高、札幌医科大学
看護学	El Sayed Aisha	1994・10・23～1994・11・19	札幌医科大学
看護図書館学	El Fouly Yasmin ahmeed	1994・10・27～1995・01・28	札幌医科大学ほか
成人看護	Amal Fakhry Garas	1995・07・04～1995・08・23	札幌医科大学
基礎看護	Labiba Abd Abdek-Hamid	1995・07・04～1996・03・06	札幌医科大学
看護管理	Eglal Ahmed Abd El Wahab	1995・07・04～1995・11・01	札幌医科大学
地域看護	Soheir Aly Badre El Din	1995・07・04～1996・03・06	札幌医科大学

3-5 資機材供与及び利用状況

平成6年度機材供与費として、約2,400万円の機材が供与されている（購入は全品目、現地調達）。看護書籍が引き渡し手続き中であるが、その他の機材利用状況は良好である。

品目及び仕様	数量	利用状況
コピー機 XEROX社製 MODEL-5350	1	印刷室に配置。 講義に使用する配布資料、試験問題等の作成に利用。
コピー機 XEROX社製 MODEL-1025	2	
パーソナル・コンピューター IBM社製 PS/1 486DX 2	7	各学科（7学科）の教務室に配置。 配布資料・試験問題の作成、教員の研究等に利用。
レーザープリンター HEWLETT PACKERD社製 LAZER JET 4L PRINTER	7	
大型バス エジプト・ナセル社製 NASR 842	2	学生が実習施設・地域に行く際のスクールバスとして利用。
ステーションワゴン クライスラー社製 JEEP CHEROKEE 2500CC	1	実習地域における教員の巡回指導用車両として利用。
看護書籍（輸入書） WB SANDERS, LIPPINCOTT, MOSBY社等	168	看護学部図書館に引き渡し手続き中。 教員及び学生の参考資料として利用予定。

3-6 ローカルコスト負担事業

一般現地業務費を日本側で負担している。平成6年度の支出総額は約7,203千円である（予定金額は7,323千円。120千円を銀行口座の必要最低残高及び平成7年度第1四半期分現地業務費入金までの専門家活動のため繰り越した）。支出用途は主に専門家の活動経費、資料購入、セミナー開催、カウンターパートのコンピューター研修等に使用している。

なお、平成7年度分のローカルコスト負担は一般現地業務費として6,444千円、技術交換費（トルコ国人口教育促進プロジェクトとの技術交換）として933千円が予定されている。

4. 暫定実施計画及び詳細年次計画

(1) 長期専門家

長期専門家について今回の計画打合せ調査でその分野を明確にした。分野としてはチーフアドバイザー、調整員、看護、図書館運営、関連する看護分野とした。現在派遣中の分野としてはチーフアドバイザー及び調整員となっており、本年9月頃から図書館運営専門家1名は派遣される予定である。なお、看護分野の専門家としては現在チーフアドバイザーのみとなっているので、今年度中に看護分野の長期専門家派遣が必要であり、日本側にて人選を継続することとした。

(2) 短期専門家

短期専門家としては、看護（基礎看護、地域看護等）、臨床看護、看護ワークショップ、図書館運営、システムエンジニア、視聴覚教育、その他関連分野とし年間10名程度の派遣を予定している。なお、これら短期専門家の派遣に当たってはその時期、内容について先方とも十分な調整が必要である。

(3) 研修員

年間3～4名程度の受入れを予定している。ただし、研修員の受入時期、機関、分野等についてはプロジェクトの進捗状況によっても事情は異なってくるので、今回の計画打合せでは看護分野全般を研修課題とすることとし、特に厳密に分野は限定しなかった。

5. 実施運営上の問題点

- (1) 携行機材、供与機材を問わず、通関に時間を要している。これは、本プロジェクトが独立して免税特権を有しておらず、手続き上は看護学科が属する医学部を通すこととなるためである。これまでも、短期専門家が到着後も機材が引き取れない等の例が出ているので、スムーズな免税通関を行えるよう医学部とも調整していく必要がある。
- (2) 無償資金協力により建設された新看護校舎については、この4月から使用が開始されたばかりであり、その維持管理体制等については未だ確定していない。今後、同校舎を使用していく過程で維持管理体制の構築及び問題点等を整理していく必要がある。
- (3) 医学部看護学科を看護学部昇格させ、予算上の手続き等も医学部を通さず行えるよう先方はカイロ大学に要望中である。本件については早期の実現が望まれる。
- (4) 現在、長期専門家としてはリーダー（看護分野）及び調整員2名の派遣にとどまっており、リーダー以外にも看護分野の長期専門家派遣が必要となっている。
- (5) 看護校舎内部にコンピューターネットワーク（LAN）を構築し、学生管理、講義内容の相互利用等に役立てたいとする構想を先方は持っている。また、図書館についてもレファレンス用に今後、コンピューターを導入し、アレキサンドリアの看護図書館（アレキサンドリア大学看護学部）ともオンライン接続したいとしている。

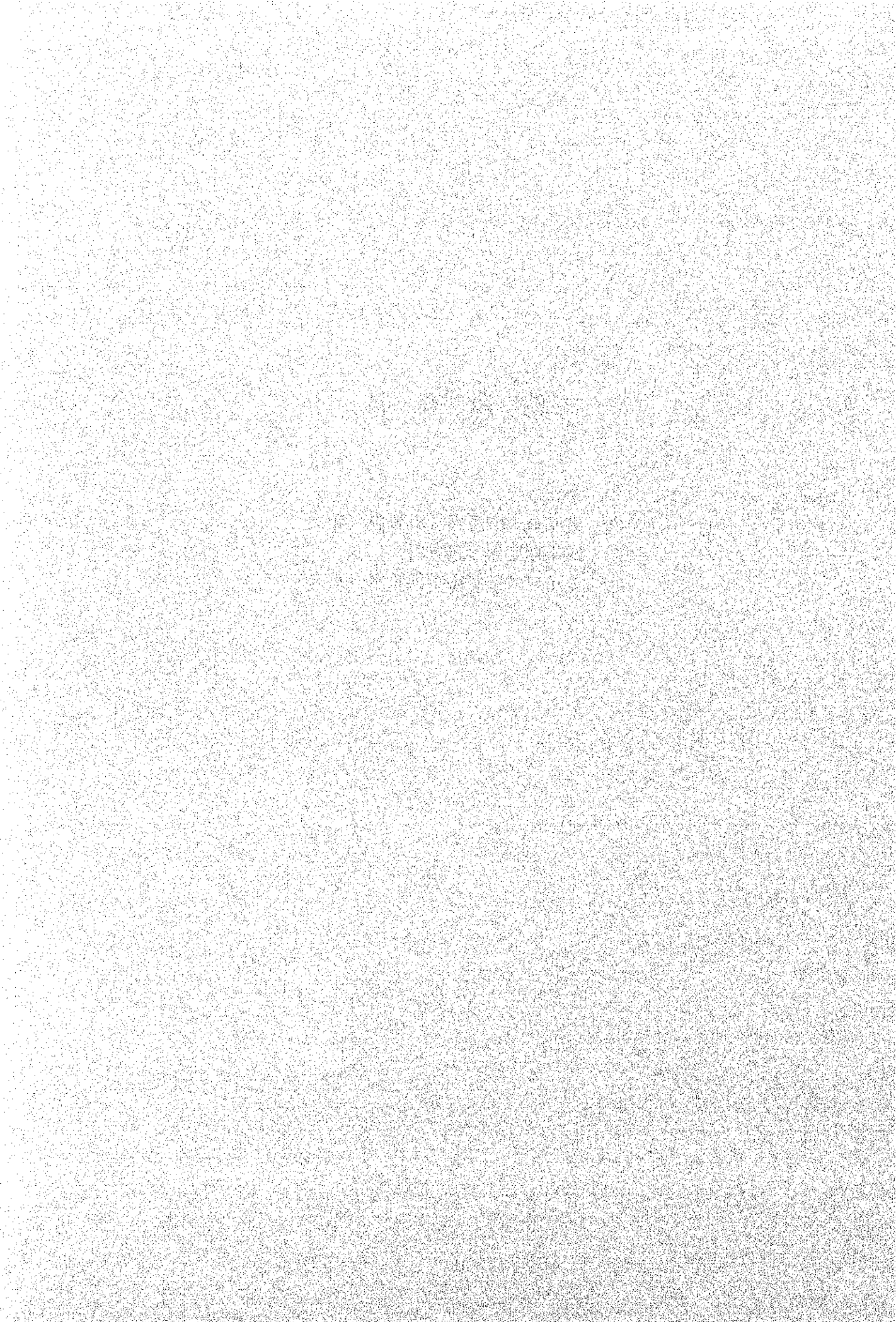
しかしながら、現実問題として現在の看護学部スタッフの中にハード/ソフトの詳細が分かる者はおらず（担当者はいるが本来の専門は看護）、また先方のコンピューターに対する理解も十分とはいえない面が見受けられる。

については、コンピューターの導入に当たっては慎重に対応することとし、日本側からも短期専門家ベースで情報処理専門家を派遣し、先方との意見調整を行うこととしたい。

- (6) 看護校舎が竣工したことに伴い、今後、看護学科の活動内容も向上することが予想される。ついては、今後の将来像（看護学部として独立した場合のことも見据えて）等、きちんとしたビジョンを構築していくことが重要である。ミニッツにも現時点での先方基本構想として添付したが、同構想を今後いかに実現していくかについて先方と日本側の緊密な協力体制が必要である。

附 属 資 料

- ① ミニッツ
- ② カイロ大学看護学科資料（和文）
- ③ 四半期定例会議資料
- ④ カイロ大学看護学科資料（英文）



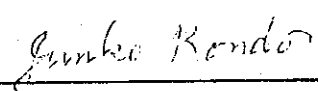
MINUTES OF DISCUSSION
ON
THE PROJECT FOR THE HIGH INSTITUTE OF NURSING, CAIRO UNIVERSITY
BETWEEN
THE JAPANESE PLANNING AND CONSULTATION SURVEY TEAM
AND THE HIGH INSTITUTE OF NURSING, CAIRO UNIVERSITY
ARAB REPUBLIC OF EGYPT

The Japanese Planning and Consultation Survey Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Prof. Junko KONDO, Dean of School of Health Sciences, Sapporo Medical University, visited the Arab Republic of Egypt from April 28 to May 5, 1995 for the purpose of discussing the detailed implementation plan for 1995 to 1998 of the Project for the High Institute of Nursing, Cairo University (hereinafter referred to as "the Project").

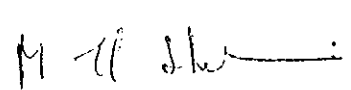
During its stay, the Team exchanged views and had a series of discussion with the Egyptian authorities concerned regarding the activities and implementation of the Project.

As a result of the discussions, both sides agreed upon the matters referred to in the document attached hereto.

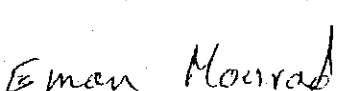
Cairo, May 4, 1995



Prof. Junko KONDO
Leader,
Planning and Consultation Survey
Team
Japan International cooperation
Agency



Prof. Dr. Mootaz El SHERBINY
Dean,
Faculty of Medicine,
Cairo University,
Arab Republic of Egypt



Prof. Dr. Eman MOURAD
Director,
High Institute of Nursing,
Cairo University

I. GENERAL REVIEW

The Project has started from 1 of April, 1994 for five-years for the purpose of strengthening and improving the function and activities of High Institute of Nursing, Cairo University (hereinafter referred as "HIN").

In accordance with the Record of Discussion signed on 20 of October 1993 by both sides, JICA has dispatched 2 long-term experts and 9 short-term experts to Egypt and has accept 3 counterparts for training in Japan, and also has taken necessary measure to provide equipment necessary for smooth implementation of the Project.

Both sides reviewed the activities of the achievement made so far with regard to the implementation of the Project. Thus, based on the common recognition of the present state of the Project, both sides confirmed the continuous cooperation between the Japanese and Egyptian governments for the further progress of the Project.

E. Mourad

H. I. Shalaby

In Kanda

II. SUMMARY OF DISCUSSIONS

1. Both sides agreed upon the following matters:

- (1) As for the Project Cycle Management (PCM) table agreed on 20th October, 1993, no change has made.
- (2) As for the Tentative Schedule of Implementation (TSI) agreed on 20th October, 1993, the further detail was added (see IV. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION).
- (3) The priority of equipment should be discussed according to the activities of the Project.

2. Egyptian side Submitted proposal for the implementation of activities in the following areas (refer to ANNEX-1) and also requested to increase the number of counterpart training in Japan. Japanese team took note of the Egyptian request/proposal and suggested that these items should be analyzed by both sides in accordance with the implementation of the Project.

- (1) Improvement of the school management system through automation of the following areas:
Student Affairs, Administration and Library.
- (2) HIN Bulletin in Arabic.
- (3) Training courses for management of HIN.*
- (4) Technical support to PHC Unit, Skill Laboratory, Anatomy Laboratory, Language Laboratory, Nursing Research Laboratory, Library and Audio Visual Laboratory. *
- (5) Development of Procedure Manuals and Modules.
- (6) Continuous Support to Workshops and Seminars.*
- (7) Support to Continuing Education Center.
- (8) Development of Educational Audio Visual production.
- (9) Issuing Nursing publication.

*These items were partially realized in FY1994.

3. Japanese side requested that the Egyptian side takes necessary measures to resolve following matters.

- (1) Promotion to Faculty.
- (2) Tax imposed to the air ticket for counterpart training in Japan.
- (3) Custom Clearance of the Equipment accompanied by Japanese experts for technical transfer.

E. Mourad

M. H. Shal

J. Kondou

III. ACHIEVEMENT OF TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

The technical cooperation activities under the Project in FY 1994 have been carried out as follows:

1. Dispatch of Japanese experts to the Project

(1) Long-term experts (field, name, term)

1) Chief Advisor,
Ms. Kyoko TATEYAMA,
23/April/1994 ~ 22/October/1995

2) Coordinator
Mr. Atsushi KONDO
23/April/1994 ~ 22/April/1996

(2) Short-term experts (field, name, term)

1) Library
Ms. Keiko OZAKI
28/April/1994 ~ 7/May/1994

2) Library
Ms. Keiko KANBE
28/April/1994 ~ 7/May/1994

3) Nursing Education
Prof. Junko KONDO
17/September/1994 ~ 8/October/1994

4) Medical-Surgical Nursing
Ms. Tomiko WAKAYAMA
2/December/1994 ~ 11/December/1994

5) Pediatric Nursing
Ms. Junko SASAKI
2/December/1994 ~ 25/December/1994

6) Maternal and Newborn Health Nursing
Prof. Junko KONDO
24/March/1995 ~ 2/April/1995

E. Mourad

J. Kondo

7) Pediatric Nursing
Ms. Yuriko ISHIZUKA
24/March/1995 ~ 2/April/1995

8) Community Health Nursing
Ms. Hanako FUKAZAWA
24/March/1995 ~ 2/April/1995

9) Medical Surgical Nursing
Ms. Yoshie YOKOTE
24/March/1995 ~ 2/April/1995

2. Dispatch of Egyptian Counterpart Personnel to Japan.

(1) Visit and observation to Japan for the purpose of assessing the collaboration and execution of the Project.

1) Dr. Eman Moustafa Mourad, Director of HIN
23/October/1994 ~ 19/November/1994

2) Dr. Aisha Awad El Sayed, Deputy Director of HIN
23/October/1994 ~ 19/November/1994

(2) Training in Japan in the field of library

1) Dr. Yasmin Ahmed El Fouly, Lecturer of HIN
27/October/1994 ~ 28/January/1995

3. Provision of Machinery and Equipment.

Machinery, Equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project have been provided in FY 1994.

(Local Purchase Only)

- (1) Bus for transportation of student (2)
- (2) Vehicle for the teaching staff of Community Health (1)
- (3) Equipment for development of teaching materials (7 set)
- (4) Equipment for printing materials (3)
- (5) Nursing Books (164)

E. Mourad

M. El Sherif

J. Kondo

IV. TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

According to the present state of progress and other conditions of the Project, both sides jointly formulated workable Annual implementation Plan of the Project.

The tentative schedule of implementation is modified as shown in Annex 2, and the outline of the Annual Implementation Plan for FY 1995 is as follows:

1. Japanese side

(1) Dispatch of Japanese experts to the Project

a. Long-term Experts

- 1) Chief Advisor
- 2) Coordinator
- 3) Nursing
- 4) Library
- 5) Other related nursing fields mutually agreed upon

b. Short-term Experts

- 1) Nursing*
- 2) Clinical Nursing*
- 3) Nursing workshop (WS)*
- 4) Library
- 5) System Engineer
- 6) Audio Visual
- 7) Facility Management
- 8) Other related fields

*The experts in these fields include :

Fundamental Nursing, Medical-Surgical Nursing, Maternal and Newborn Health Nursing, Pediatric Nursing, Community Health Nursing, Psychiatric Nursing, Nursing Administration, Nursing Education, Nursing Research.

(2) Training of Egyptian counterparts in Japan

- 1) Fundamental Nursing
- 2) Community Health Nursing
- 3) Medical-Surgical Nursing
- 4) Nursing Administration

E. Mourad

M. El Shur

J. Kondo

(3) Provision of the Equipment

The Egyptian side requested to the Team the provision of Equipment mentioned below. The Team promised to convey this request to the authorities concerned in Japan for its favorable consideration. Equipment necessary for the Project will be provided within the limit of budgetary allocation of Japanese side.

- 1) Autoclave 150 L.
- 2) Infant Warmer
- 3) Suction Machine
- 4) Low Pressure Continuous Suction
- 5) Infusion Pump
- 6) Syringe Infusion Pump
- 7) Fetal Monitor
- 8) Other 49 Items

2. Egyptian Side

Securing the budgetary allocation in accordance with implementation of the Project in relation to the followings:

- (1) Employing new personnel (3 engineers, 8 nursing laboratory specialists, laboratory and maintenance technicians, drivers)
- (2) Running cost (Salaries of faculty members and supportive administrative staff, training of technicians and engineers, stationary, furniture in dormitory and main administration offices).
- (3) Supplies for operating laboratories , for clinical training and for transportation (vehicles etc.)
- (4) Maintenance of the building and utilities (spare parts, maintenance contracts with the concerned dealers of equipments, cleanliness and security).

M. H. Shalaby

E. Hourad

J. Kondou

(Annex 1)

A Proposal for Implementation
phase of the Project (1996 - 1999)

Submitted by the Egyptian side on May 1995

1996 - 1997	1997 - 1998	1998 - 1999
<ul style="list-style-type: none">- Improvement of school management through automation of the following areas:<ul style="list-style-type: none">- Students affairs- Administration- Library- H.I.I.N bulletin	<ul style="list-style-type: none">- A / V Production: Complete the establishment of Studio production For Educational Material	<ul style="list-style-type: none">- A Nursing congress- Completion of uncompleted activities
<ul style="list-style-type: none">- Issuing Nursing Publication- Seminars & workshops- Continuing Ed.Center		
<ul style="list-style-type: none">- Research activities (Meetings & symposium)		
<ul style="list-style-type: none">- Planning for a Nursing congress		
<ul style="list-style-type: none">- Training courses for management of H.I.I.N		
<ul style="list-style-type: none">- Technical support for skill labs, primary health care unit, anatomy lab, language lab, nursing research lab, A / V lab and Library		
<ul style="list-style-type: none">- Development of procedure manuals & Modules		

E. Mourad

E. Kouda

M. El Shorouky

TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION
THE PROJECT FOR THE HIGH INSTITUTE OF NURSING, CAIRO UNIVERSITY, JICA.

SPECIAL AREA	1994 - 95			1995 - 96			1996 - 97			1997 - 98			1998 - 99																							
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
LONG TERM EXPERT	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
- Chief Advisor																																				
- Coordinator																																				
- Nursing																																				
- Library																																				
- Related Nursing Fields mutually agreed upon																																				
SHORT TERM EXPERT	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
- Nursing*																																				
- Clinical Nursing*																																				
- Nursing Workshop*																																				
- Library																																				
- System Engineer																																				
- Audio Visual																																				
- Other Related Fields																																				
C/P Training in Japan	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
- Nursing Fields *																																				
- Other Fields																																				
Provision of Machinery and Equipment																																				
Dispatch of Japanese Mission to Arab Republic of Egypt																																				
	Total 3 p												Total 3 p												Total 3 p											

= Already achieved or tentatively scheduled
 -- Tentatively planned
 • The experts in these fields include :
 Counterpart training in Nursing Fields in Japan include :
 Fundamental Nursing, Medical-Surgical Nursing, Maternal and Newborn Health Nursing, Pediatric Nursing, Community Health Nursing,
 Psychiatric Nursing, Nursing Administration, Nursing Education, Nursing Research.

NOTE: This schedule is formulated tentatively on the assumption that the necessary budget be acquired by both sides.
 This schedule is subject to change within the framework of the record of discussions when the need arises in the course of the Project's implementation.

M. H. El-Hayek
 E. H. Hammad
 M. H. Hammad
 E. Hammad

② カイロ大学看護学科資料（和文）

カイロ大学

H I G H I N S T I T U T E O F
N U R S I N G

1995年3月

カイロ大学看護学科(部)概要

HIGH INSTITUTE OF NURSING (HIN) 設立の目的

大学における看護学の開講、即ちHIN設立の目的は国内において看護学を教授し、病院においては確実な看護技術をもちいて看護婦の指導監督を行い、地域においては健康教育を広め、公衆衛生看護活動を行うことのできる人材を卒業生とする。

第二の目的は質的にレベルの高い看護婦を輩出し、看護サービス分野の責任者としてサービス、教育活動の向上のために尽力する。

歴史

カイロ大学は1963年10月9日にHIGH INSTITUTE OF NURSING の設立を許可し、1964年に開校された。

1964年 第一回入学者は7名の女子であった。

1965年 保健省代表の保健大臣とWHOは協議を経て次の協定を結んだ。即ち、向こう10年間に亙りWHOはHINにたいして教員の派遣と教員の養成教育器材の供与と指導、印刷機の供与と指導を行うというものであった。この10年間に10数名のWHO看護専門官が派遣され、指導にあたった。初期においてはWHOからの派遣はダイレクター1名と各教科の指導専門官として常時4-6名が滞在していた。初めに基礎看護、内科、外科看護からはじまり、じょじょに小児看護学、母性看護学の専門官をむかえた専門官の国籍は多国籍で初代ダイレクターはカナダ人のMrs Rila Donell Hillであった。その他にアメリカ、フィリピン、フィンランド、インド出身の専門官が派遣されていたがこれらの人たちは看護理論の講義に集中し、臨床実習指導はほとんど行っていなかったと言われる。

エジプト人教師としてはアレキサンドリア大学HIN(1952年設立)卒業生のMs. Esawed, Ms. shaharizad, Ms. Nilferが助手として派遣された。またこの3人はWHO専門官のカイロ滞在中にエジプト政府奨学生としてカリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部修士過程に留学し、1969-1970年に修士の学位をとりあいついで帰国してきた。

1975年 エジプト人初代ダイレクターにDr. Eman M. Mourad.(モスクワ大学博士、米国カトリック大学看護学修士)が任命された。

修士課程開講。

1977年 修士課程第一回生学位取得

Esawed, Shaharizad, Nilferがアレキサンドリア

大学 School of Public Health において博士号
を取得した。

1980年 博士課程開講。

1983年 第一回博士課程終了、博士号取得者をだしている。

歴代HINダイレクター

1. Mrs Rita Donell Hill (WHO専門官) 1965-1975年
2. Prof. Dr Eman M. Mourad 1975-1989年10月
3. Prof. Dr Shaharizad M. Ghazy
1989年10月-1992年10月
4. Prof. Dr Eman M. Mourad 1992年10月 -現在
(Acting Director: Dr. Aisha Awad
1992年11月-1993年1月)

Dupty Director:

学部担当 : Prof. Dr Shadia Shalaf
大学院担当 : Prof. Dr Aisha Awad

教科の長

基礎看護学 : Prof. Dr Shadia Sharaf
A. Prof. Dr Samira El Sharkawy
内科外科看護学 : A. Prof. Dr Nawal Ebed Hana
小児看護学 : A. Prof. Dr Miret Darwish
母性看護学 : A. Prof. Dr Yousseria El Sayed
地域看護学 : A. Prof. Dr Sania M. Rizk
精神科看護学 : A. Prof. Dr Enaiat Abdel Wahab
看護管理学 : A. Prof. Dr Mahassen Ismail

図書館:

図書委員会委員長 : Prof. Dr Aisha Awad
アシスタント : Dr Yasmine El Fouly
図書館司書 : 9名

事務局 : 局長 Mrs Mahassen M. Ismail
他13部門 83人

HINの決定機関

University Council (大学評議委員会)
Faculty of Medicine Council (医学部評議委員会)
HIN Council (HIN 評議委員会)
Department Council (卒後教育、学部別評議委員会)
Department Council (教科委員会、教科長で構成される)

BOARD OF HIN (HIN理事会)

以下のメンバーにより構成される：

医学部長 (チェアパーソン)

HIN ディレクター

副医学部長 1名

カイロ大学総合病院長

HIN副ディレクター (卒後教育担当)

HIN副ディレクター (学部担当)

HINの各教科長

その他3名 学外からの看護関係者

一年間HIN理事会から指名された者

諸委員会

カリキュラム委員会

JTCPC (日本技術協力委員会)

その他：

Council for Scientific Culture Affairs

(全大学の教官に対して奨学金の通知と指名の承認を行なう機関)

H I Nの理念

”人”は自然現象、行動規範そして精神力により生きていく。

”人”は変化する社会において継続する変化を経験し、社会、自然、感情が混合した要因に影響される。

それにも関わらず、”人”は本来のもの、経験、文化、社会、経済的環境に影響を受ける特異な生物である。

カリキュラムの目的

卒業後は各職場において、看護婦として各自の科学的知識をもって人々の行動を理解しその援助の必要性を理解する。学生は在学中にその学習課程において自己学習の能力を向上させ、常に専門家としての能力を保つために学習をつづける。

1. 看護婦は諸地域社会（コミュニティ）において、健康な人、疾病に罹っている人にたいして、科学的な看護を効果的に安全に供給する。
2. 看護婦は人々が健康を危険にさらされた状況、または、健康上の問題に遭遇しているのを発見しならば看護過程を用いて解決に導く。
3. 看護婦は行われるリサーチに知識を活用し、その意味を認め協力する。
4. 看護婦は向上するヘルスケアの過程にあつて、自己の能力とヘルスケアチームのメンバーの能力を向上させる。
5. 看護婦は患者さんの継続的な健康教育の責任を持ち、他のコミュニティにあつても同様の働きをする。
6. 看護婦は基本的な役割と規則をしっかりと把握し、ヘルスケアチームのメンバーとして働く。
7. 看護婦は看護専門職として人材の特色と本質を判別し昇進と補充を行なう。

学位について：

A. 看護学士。Bachelor's Degree BSc. N

B. 看護学修士。Master of Nursing MSc. N

看護教育、看護官理学いずれかの1つの専門について授与し、同時に以下の専門看護について授与する。

- 1) 内科外科看護学
- 2) 母性看護学
- 3) 小児看護学
- 4) 地域看護学
- 5) 精神科看護学
- 6) 看護管理学

C博士号 Doctorate Degree of Nursing
 Science D, N, Sc

看護学士入学資格

- A. 高等学校理科系卒業証書、またはこれと同等の卒業証書を得ていること。
- B. 応募者の第一外国語は英語であること。Language Schoolの卒業生はこの条件は適用されない。(Language Schoolとは英語、フランス語、ドイツ語によりアラビア語を除く全教科の授業がなされている小、中、高等学校を言う。これらの学校の生徒は使用言語により全国高校卒業試験を受け、その成績は高等学校成績管理センターに登録される。)
- C. Health Technical Institute (高校卒業後2か年の看護教育)の卒業証書取得者は、その卒業時の成績が75%以上であれば第二学年に編入が許される。
- D. 高等看護科の卒業証書所得者でその成績が70%以上であり、一般高校の理科系科目と語学に合格すればHIN入学が許可される。
- E. 学生はフルタイムの学生として就学すること。

条項6 就学年限は4年間の学部と1年間のインターンシップ の計5年間である。

条項7 学生は4か年全学年の学課に合格しなければならない。

条項8 インターンシップの期間はHIN看護管理学の教師の指導下に各セッション三交替勤務をしながら臨床実習を行なう。

条項9 評価

- 全領域における実習の結果は各科ローテーション終了時に理論、臨床看護技術の両面から評価をうけ、学生に通知される。
- 各学科領域の合格点は60%である。
- 不合格者はインターンシップ終了までに不合格科目について繰り返し評価を受けることができる。

条項11 合格率と昇級

学生は各学期(二期制)の期末試験を受けねばならない。

条項13 看護以外の科目であれば2科目までの不合格点であっても昇級できる。

条項14 看護学、医学の各学科の評価は以下のように表現される。

- Excellent : 85%以上
- Very Good : 70-85%未満
- Good : 65-70%未満
- Satisfactory : 60-65%未満
- Weak : 30-60%未満
- Very Weak : 30%以下

一般科目(英語、心理学、社会学、統計、人間学)は50%以上が合格。

条項 15 学生は期末試験受験資格として出席率が要求される。

修士課程入学資格

- A. 学部卒業時の成績が GOOD 以上であること。
- B. インターンシップ終了後少なくとも国公立の病院または大学で認可した病院、施設で 2 年以上の臨床看護経験のある者。 1 年以上のデモンストレーターの経験のある者
- C. 学部において精神科看護を取得していない者は修士課程に入る前に精神科看護を修了すること。
- D. 現在就学中の学生は少なくとも 1 か年はフルタイムの学生として出席すること。

博士課程入学資格

- A. 修士取得者であること。Arab Republic 国の大学において修士課程を GOOD の成績で取得した者、または同等の資格と大学が認めた者。
- B. 病院または他施設で働く学生は少なくとも 1 か年はフルタイムの学生として就学すること。

エジプト国の奨学金

成績優秀者に対して以下の奨学金が与えられる。

EXCELLENT 20 ポンド / 月 6 か月分

VERY GOOD 10 ポンド / 月 6 か月分

新入生で一般高校を 80 % 以上の成績、職業高校素業の証書を有する者は毎月 14 ポンドが 6 か月支給される。

学生ユニオン

学生ユニオンは各学部、High Institute に登録している女子学生によって構成されている。

女子学生はユニオン会費を支払うことによって活動に参加できるが投票権や被候補者としての権利はない。

目的 :

- 女子学生にたいして精神的成長と道徳的価値、国民意識を深めリーダーシップの習慣をつけ、学生の意向を発揚する機会をあたえる。
- 女子学生に対して大学の精神を教え学生間、学生、教師間および学部やインスチテュート職員間の関係を深める。
- 学生を勇気づけることにより、女子学生の能力、技術のタレント性を発見する。

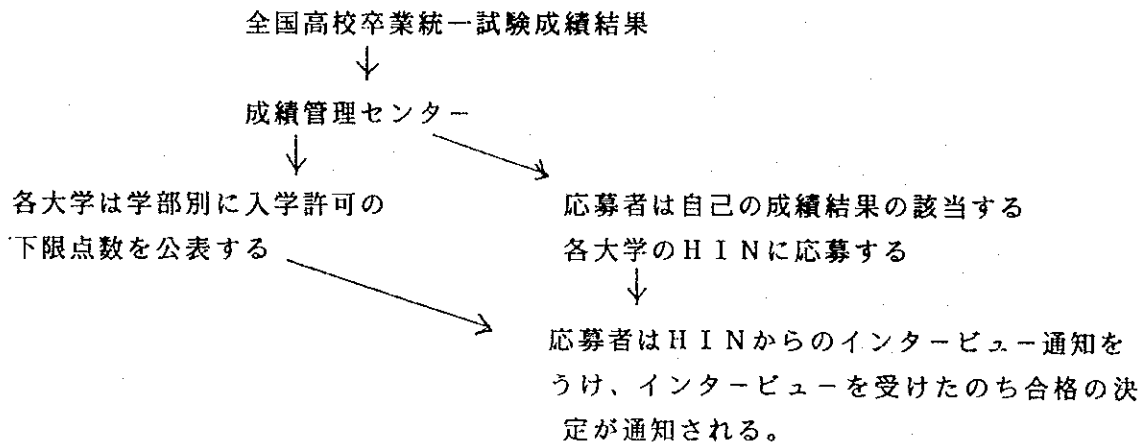
- スポーツや家族形成への勇気づけを行ない、これを広める。
- スポーツ、文化、社会、活動を組織化し広める。

各委員会は以下の通りである：

- 学生委員会
- スポーツ活動委員会
- 文化活動委員会
- 芸術、スポーツ委員会
- スカウト、一般サービス委員会
- 社会活動、救済委員会

H I N 入学許可のプロセス (国立大学)

(私立大学は1校のみ)



「 学期末試験および試験結果処理のプロセス 」

問題作成 (各担当教官)

試験問題は大学印刷部にて厳重な監視下に冊子状に印刷作成される

試験実施

解答用紙は問題用紙に付属している。氏名は折り返して見えなくしてある。

解答のチェックは担当教科の教官が行なう

試験コントロール室に採点後の試験問題用紙は運ばれる

(コントロール担当教官 (各教科ごとに教科長が任命する) が再度、解答のチェックと採点の確認を行なう)、この後成績が整理され順位づけが行なわれる。

成績一覧表が学年別に作られる、この際合否が明記される

H I N 評議委員会にて成績会議が行なわれる

これにより合否点が決定する。成績表に委員長の署名がなされる

学生課に掲示発表される

学部の教科科目

第一学年

第1期	15週	(9月-1月)	理論	臨床実習
1、社会学			24時間	
2、解剖学			36時間	
3、英語			120時間	
4、看護総論 (1)			172時間	156時間
		合計	252時間	156時間
第2期	15週	(2月-6月)		
1、寄生虫学			24時間	
2、細菌学			24時間	
3、生理学			36時間	
4、心理学			24時間	
5、看護総論 (2)			74時間	156時間
		計	180時間	156時間
		合計	432時間	312時間

第二学年

第1期	15週	(9月-1月)	理論	臨床実習
1、病理学			24時間	
2、栄養学、生化学			30時間	
3、医学概論			30時間	
4、内科学			30時間	
5、一般外科学			30時間	
6、一般内科学、外科看護			45時間	270時間
7、診断学(内視鏡学、放射線科学 臨床検査)			30時間	
		計	219時間	270時間

第2期	15週		理論	臨床実習
1、英語			60時間	
2、人間科学			30時間	
3、教育学			30時間	
4、外科学(専門外科)			30時間	
眼科学			10時間	
耳鼻咽喉科			10時間	
肺、心臓外科学			10時間	
5、内科外科看護学			45時間	270時間

6、応用化学 30時間

栄養学(各論) 10時間

内科学(各論) 20時間

計	225時間	270時間
合計	444時間	540時間

第三学年

第1期 15週 理論 臨床実習

1、発達心理学	30時間	
2、小児科学、外科学	30時間	
3、応用栄養学	30時間	
4、教育技術	30時間	
5、小児看護学	60時間	270時間
6、社会学	30時間	

計 210時間

第2期

1、英語	60時間	
2、婦人科学	30時間	
3、健康教育	30時間	
4、統計の基本	30時間	
5、母性看護学	60時間	270時間

計 210時間 270時間

合計 420時間 540時間

第四学年

第1期 15週 理論 臨床実習

1、健康教育	30時間	
2、看護管理(1)	30時間	
3、疫学	30時間	
4、英語	60時間	
5、地域看護学	60時間	270時間

計 210時間 270時間

第2期 15週

1、精神科疾患	30時間	
2、研究法	30時間	
3、看護教育(トレーニングプログラム)	30時間	
4、精神科看護	60時間	270時間
5、人間関係	30時間	
6、看護官理学(2)	30時間	

計 210時間 270時間

合計 420時間 540時間

条項7 試験結果の配点について：

第一学年	Year Work	記述	口答	最終点
第1期				
1、社会学	20	80		100
2、解剖学	20	80		100
3、英語	20	50	30	100
4、看護総論(1)	200	100		300
合計				600
第2期				
1、寄生虫学	20	80		100
2、細菌学	20	80		100
3、生理学	20	80		100
4、心理学	20	80		100
5、看護総論(2)	200	100		300
合計				1300
第二学年				
第1期	Year Work	記述		最終点
1、病理学		100		100
2、栄養学、生化学		100		100
3、医学概論		100		100
4、内科学		100		100
5、一般外科学		100		100
6、一般内科、外科看護学	200	100		300
7、診断学(内視鏡学、放射線学 臨床検査学)		100		100
合計				900
第2期				
1、英語	20	50	30	100
2、人間科学		100		100
3、教育学		100		100
4、専門外科学(眼科、整形外科 肺、心臓外科)		100		100
5、内科看護学	200	100		300
6、応用化学(栄養学)		100		100
合計				800
合計				1700

第三学年

第1期	Year work	記述	口答	最終点
1、発達心理学		100		100
2、小児科学、外科学		100		100
3、応用栄養学		100		100
4、教育技術	30	70		100
5、小児看護学	200	100		300
6、社会学		100		100
計				800
第2期				
1、英語	20	50	30	100
2、婦人科学		100		100
3、健康教育	30	70		100
4、統計		100		100
5、母性看護	200	100		300
計				700
合計				1500

第四学年

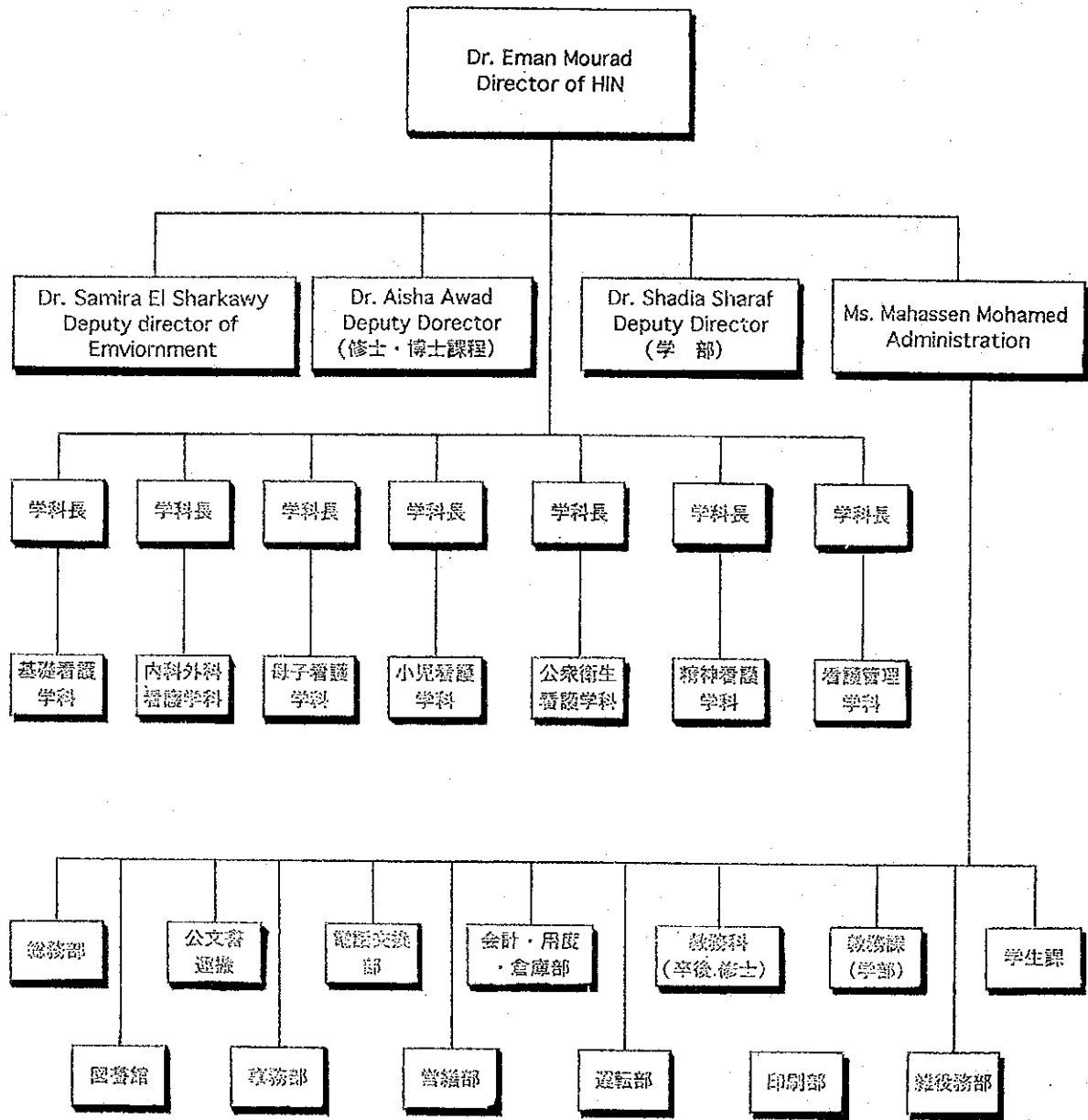
第1期	Year Work	記述	口答	最終点
1、健康管理		100		100
2、看護管理	30	70		100
3、疫学		100		100
4、英語	20	50	30	100
5、地域看護学	200	100		300
計				700
第2期				
1、精神科疾患		100		100
2、研究法	30	70		100
3、監獄教育技法	30	70		100
4、精神科看護	200	100		300
5、人間関係	30	70		100
6、看護管理(2)	30	70		100
計				800
合計				1500

"Number Of Student For A Year 1994."

Year 1994	Student No.	Remarks
1st Year	184	
2nd Year	153	
3rd Year	77	
4th Year	89	Might Increase
5th Year	70	
Total	573	

カイロ大学看護学部組織図

1995年1月1日現在



カイロ大学看護学部事務局員スタッフ

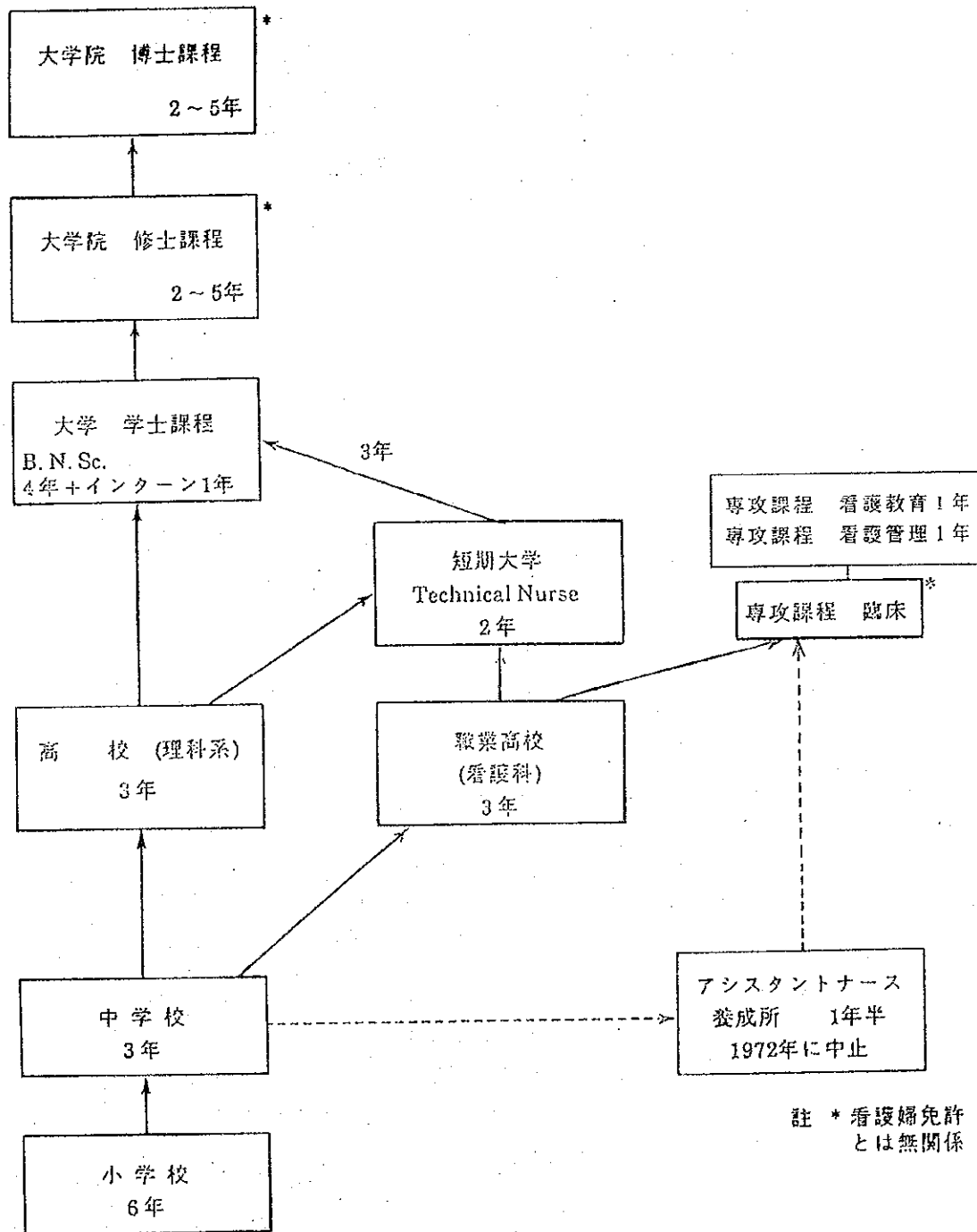
1995年1月1日現在

	部門	代表者氏名	総人数 (代表者含)	
	Administration 事務長	Mrs. Mahasen Mohamed	1	
1	Administration Section 総務部	Nadia Sayed Douseky Dowlat Hussan	15	
2	公文書運搬部		3	
3	Telephone Operation 電話交換部		1	
4	Financial Section 会計・用度・金庫係	Mohamed Nasr (Financial) Omer Radwan (Storage)	9	
5	Higher Education section 教務課 (卒後教育)		3	
6	教務課 (学部)	Fayal Fougy Fatma Sayed	11	
7	Library 図書館	Soheir Mohamed Madeha Mohmoud	9	
8	Youth Care 学生課	Kausa Mohamed Fatma Ebrahim	8	
9	Secretary Section 事務員 (各教科室付)		11	
10	Drivers 運転手		3	
11	印刷室		1	
12	営繕室		1	
13	雑役人		16	

カイロ大学看護学部予算
1994-1995

1995-2-9
国内委員会資料

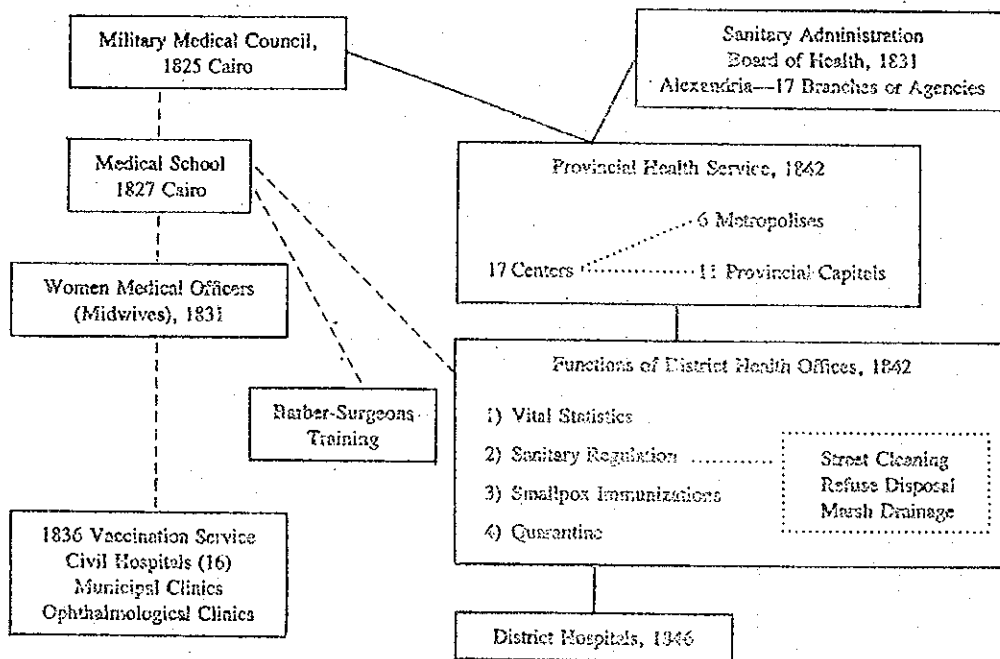
1) 人件費 (全体予算の83%)		(1LE=30円)
教師 (104名)	765,669.60LE	(22,970,088円)
職員 (91名)	737,397.36LE	(22,121,920円)
合計	1,503,066.96LE	(45,092,008円)
2) 施設運転経費		
電気料金	カイロ大学が大学本部経費として支出する	
水道料金	同上	
ガス	同上	
ガソリン	1,850.00LE	(55,500円)
電話料金	500.00LE	(15,000円)
合計	2,350.00LE	(75,500円)
3) 施設設備機器維持費		
施設維持費 (ハルキ-ビルを以て)	280,700.00LE	(8,421,000円) ^{cc} +27,562.15
設備機器維持費	3,559.00LE	(106,770円)
織材維持費	817.00LE	(24,510円)
合計	285,076.00LE	(8,552,280円)
4) 消耗品費		
事務用品	3,500.00LE	(105,000円)
印刷費	11,137.00LE	(335,610円)
合計	14,637.00LE	(440,610円)
5) 教育教科費		
図書	5,660.00LE	(169,800円)
6) その他		
運送費	700.00LE	(21,000円)
郵送費	309.00LE	(9,270円)
請手続き用税金	69.00LE	(2,070円)
合計	1,078.00LE	(32,340円)
2) から 6) の合計	308,844.00LE	(9,265,320円)
総合計	1,811,910.96LE	(54,357,328円)
	(92/93予算 954,035.68LE=31,484,805円。人件費は全体予算の93%)	



註 * 看護婦免許とは無関係

エジプトの看護教育制度

Appendix 1: A Public Health Establishment in Egypt, 1825–1850



EGYPT - JAPAN

April 1995

POPULATION: WORLD: 1950-2,516M (25億1600万人) 1995-5,759M (57億5900万人) life expect at birth: 66yrs

Year	EGYPT		JAPAN	
	Population (thousand)	Birth rate (Numbers)	Population (人口) (thousand) (千)	Birth rate (出生率) (Numbers)
1882	6,712			
1887	9,699			
1899			43,404	32.2
1907	11,190			
1917	12,718			
1927	14,178		61,659	33.4
1937	15,921		70,630	30.9
1947	18,967		78,101	34.3 (2,678)
1960	26,085	42.9 (1,114)	93,418	17.2 (1,606)
1976	36,627		112,420	16.3 (1,755)
1986	48,254	38.7 (1,928)	120,946	11.4
1993	58,000	28.2 (1,782)	12,3788	9.6 (1,188)

Infant mortality rate:

1970	159	13	(153.8 → 1899年)
1990	57		(59.5 → 1951年)
1992		4.5	

GROUP OF AGE / Population (%)	in 1985	(1992)
0-under 15yrs	50.5	21.0
15-under 65yrs	47.0	68.0
over 65yrs	2.5	11.0
		16.7
		69.7
		13.6

Numbers of Beds in Hospitals:

1952	35,744	
1954		566,349
1988	100,406	1,911,152
1989	101,865	
1990	107,880	
1992		1,959,548
1993	108,006	

Number of Registered Physitians and Nurses:

	Physitians	Nurses	Physitians (医師)	Nurses (看護師)	PHN	Midwife
1988	76,000	54,000				
1992			219,704	795,810	26,909	22,690
1994	112,200	76,070				

NUMBER OF GRADUATE STUDENTS:

	Faculty of Med	HIN (看護大学) Sec./Nrsng	F of Med (医学部)	F of Nursing
1988/89	4,781	340		
1989/90	4,441	346		
1990/91	4,414	498		
1991/92	3,880	634		
1992/93	3,546	770		
1993/94		708	10,000	7,710 (80 schools)

Nursing School : 129.852/year (960)
 Public health Nurse: 3,173/year (77)
 Midwife : 2,290/year (89)
 () -Number of School

CAUSE OF DEATH (rate) (100,000/population) in 1987

	Egypt	Japan	U S A
Death rate	951.1	693.8	863.8
Infection disease & parasite	98.9	10.8	12.2
Malignant tumor	22.0	187.2	203.2
Cardiac disease	143.1	142.2	280.1
Pneumonia	53.4	60.2	31.1
Death due to prenatal	583.3	129.4	425.0
Traffic accident	12.2	7.2	19.9

Ref: Egypt Year book 1994
 World Development Report 1994

Health and Welfare Statistics in Japan 1993
 厚生省の指標、看護関係統計資料集平成6年

プロジェクト要約 Narrative Summary	指 Verifiable Indicators	標 Verifiable Indicators	指標データ入手手段 Means of Verification	外部条件 Important Assumptions
<p>上位目標 Overall Goal 看護学部がエジプト国の保健医療、福祉に貢献する。</p>	<p>卒業生の就業率</p>	<p>1. 教員の数 (対学生数) 2. 教員の学士、修士、博士号保有者の比率</p>	<p>保健省看護課のH I N卒業生の動向に関する統計</p>	<p>1. エジプトで保健医療福祉サービスに必要な数の医師と保健従事者が確保される。</p>
<p>プロジェクト目標 Project Purpose 看護学部の機能を強化し、レベルアップする。</p>	<p>1. 教員の数 (対学生数) 2. 教員の学士、修士、博士号保有者の比率</p>	<p>1. 卒業生の学カレベル 2. カリキュラムそのもの 3. 年間教授計画 (各領域ごと)、報告書 4. H I N教員研修計画と各都よりの年次報告書 5. 研修道具のリスト 6. 視覚化器具の使用頻度、自習学生の数、図書館の使用頻度と管理報告</p>	<p>(自行統計、サンプリング調査など) H I Nの教員、職員、学生に関する統計資料</p>	<p>1. 看護学部の卒業生がエジプト国内の諸保健医療及び教育の機関で看護課のリーダーとして勤務する。</p>
<p>成果 Outputs 1. 看護教育方法とカリキュラムが改善される。 2. 看護教育に当たる教員が養成される。 3. 教育及びトレーニングに活用される教育用メディアが強化される。 4. 看護学部運営技術が向上する。 5. 看護実習施設の指導者看護婦の技術能力が向上する。</p>	<p>活動の各項目</p>	<p>投入 Inputs 機材：予算 専門家：M/M (Unit Cost)</p>	<p>1. 卒業生の学カレベル 2. カリキュラムそのもの 3. 年間教授計画 (各領域ごと)、報告書 4. H I N教員研修計画と各都よりの年次報告書 5. 研修道具のリスト 6. 視覚化器具の使用頻度、自習学生の数、図書館の使用頻度と管理報告</p>	<p>1. 訓練された看護学部の教員と適切な規模の卒業生が看護教育者としてH I Nにとどまる。 2. 訓練された大学の管理・事務責任者がH I Nで勤務を続ける。 3. カイロ大学が教材、特にパーソナルコンピュータの保守管理に必要な予算を確保できる。 4. 必要な数の学生が入学する。</p>
<p>活動 Activities 1-1. 年間教科教授計画を策定し実施結果の評価を行う。 1-2. 看護教育研究を行う。 2-1. 看護教員及び大学卒業生の看護理論、実践、教育技術に関する知識を向上させる。 2-2. 学内及び各専門看護研究室において、研修プログラムを定期的に企画、実施する。 2-3. 年1-2回程度の看護教育ワークショップを実施する。 3-1. 教育学的メディア、特に教材製作について理解させ、その製作と使用方法を奨励する。 3-2. 視覚化教材の製作、活用方法を向上させる。 4-1. 看護管理技術の知識、経験を日本人専門家とエジプト人カウンターパートの間で交換する。 4-2. 図書館管理技術を向上させる。 4-3. 機材管理技術を向上させる。 5-1. 実習病院の看護婦長、主任看護婦、スタッフナースとの間で協力関係を樹立させる。 5-2. 実習病院の看護婦に対し、患者のケアについて指導、助言する。 5-3. 実習病院で使用する実習機材を充足する。</p>	<p>機材の年次供与 専門家：M/M (Unit Cost)</p>	<p>投入 Inputs 機材：予算 専門家：M/M (Unit Cost)</p>	<p>1. 各専門分野看護課のカウンターパートがプロジェクト実施中配置される。 2. 適切な実習病院が確保される。 3. 大学の運営・事務管理に必要な人員が確保される。 4. 大学の運営・事務管理に必要な人員が確保される。 5. 大学施設の維持管理に必要な人員と経費が確保される。</p>	<p>1. 各専門分野看護課のカウンターパートがプロジェクト実施中配置される。 2. 適切な実習病院が確保される。 3. 大学の運営・事務管理に必要な人員が確保される。 4. 大学の運営・事務管理に必要な人員が確保される。 5. 大学施設の維持管理に必要な人員と経費が確保される。</p>
<p>前提条件 Pre-conditions 1. エジプト側が看護実習協力に係る付帯条件を遵守する。(施設維持管理等)</p>				<p>前提条件 Pre-conditions 1. エジプト側が看護実習協力に係る付帯条件を遵守する。(施設維持管理等)</p>

Narrative Summary	Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumptions
<p><Overall Goal> That the graduates from the High Institute of Nursing at Cairo University will contribute to the improvement of health, medical and welfare services in Egypt.</p>	<p>Working rate of HIN graduates</p>	<p>Statistics on the HIN graduates in Dept. of Nursing, Ministry of Health.</p>	<p>1. Sufficient numbers of medical doctors and paramedical staff shall be secured for health, medical and welfare services in Egypt.</p>
<p><Project Purpose> To strengthen and improve the functions and activities of HIN.</p>	<p>1. The number of teachers in nursing education (per number of students) 2. The percentage of the number of teachers who have BS, MS, and Ph.d degrees.</p>	<p>Statistics on educational background of teachers, staff, and students.</p>	<p>1. The graduates from HIN work as leaders of nurses at health service institutions and educational institutions in Egypt.</p>
<p><Outputs> 1. Curriculum and teaching methods for nursing education are improved. 2. Teaching staff in nursing education are trained. 3. The educational aids and resources for nursing education and training are improved. 4. The management of HIN; i.e. personnel management, financial management, equipment management and building facilities management of HIN is improved. 5. The technical level of nurses who are responsible for clinical training of nurse students at teaching hospitals and health care facilities is improved.</p>	<p>Results of each activity.</p>	<p>1. Competency level of student at the graduation 2. Curriculum of nursing education, annual teaching plan for each subject, annual reports, research reports 3. Teacher training programmes of HIN, annual reports of each division 4. Training reports of students 5. List of training materials 6. Frequency of usage of audio-visual equipment, the number of self-learning students, frequency of library usage, reports on library management</p>	<p>1. Trained teachers from HIN and a sufficient number of graduates shall remain at HIN as nursing educators. 2. Trained managers and administrators shall continue to work at HIN. 3. Sufficient budget for the management of HIN shall be secured by Cairo University. 4. Sufficient enrollment of students shall be filled out.</p>
<p><Activities> 1-1. To review the annual syllabus and evaluate the outcome. 1-2. To conduct nursing education research. 2-1. To improve knowledge and skills on nursing theories, nursing practice, and teaching methods of teaching staff and graduate students specialized in nursing education. 2-2. To plan and conduct staff training programs periodically at HIN and in each department. 2-3. To hold nursing education workshops once or twice a year. 3-1. To make understood the importance of the use of educational aids and resources, and encourage the production and use of the teaching materials. 3-2. To improve the production and use of audio visual teaching materials. 4-1. To exchange knowledge and expertise in school administration techniques between the Japanese experts and the Egyptian counterparts. 4-2. To improve library administration techniques. 4-3. To improve equipment administration techniques. 5-1. To establish cooperative links between the staff of HIN and the nursing directors, head nurses, and staff nurses at teaching hospitals. 5-2. To improve knowledge and skills on patient care of nurses in collaboration with teaching hospitals. 5-3. To arrange necessary educational materials which are used by nurse students at clinical training in the training hospitals for effective learning.</p>	<p><Inputs> Equipment: budget Experts: W/M *Annual donation of equipment Equipment accompanied by experts *Experts (long term) *Experts (short term) *Counterpart trainees *Survey teams *Local costs supply</p>	<p>1. Sufficient number of Egyptian counterpart personnel in each division shall be assigned during the project's implementation. 2. Adequate training hospital shall be available for nurse training. 3. Sufficient budget for maintenance of teaching aids, especially personal computers, shall be secured. 4. Sufficient number of personnel for school management and administration shall be secured. 5. Sufficient personnel and budget for maintenance of school buildings shall be secured.</p>	<p><Pre-conditions> 1. Egyptian side will take necessary measures to manage and maintain the school facilities and building according to the E/M of Grant Aid.</p>

E. Mouta
K-50
1/1/1974
JK

③ 四半期定例会議資料

The Japanese Technical Cooperation Project
for The High Institute of Nursing
Cairo University

The First Biannual Report
To Be Presented to the Joint Coordinating Committee
(December 1994)

Achievements:

1. Equipment:

- a. Establishment of Automated Control System for the final examination results (undergraduates).
 - Teaching staff is on the ongoing training course on computer.
 - A programmer analyst is working on the system.
- b. Lists of books were submitted by each department and they are currently in the process of purchasing.
- c. Two buses for transporting students to the training area.

2. Exchange of Experts/Training:

- On the Egyptian side three teaching staff members were sent to Japan in the period between Sep-Dec., 1994.
- On the Japanese side four Experts in the following areas:

- * Library (Two)
- * Continuing Education (One)
- * Paediatric Nursing (One)

in the period from July to December, 1994.

The purposes of the visit were to assess the current situation and needs of the Institute's library and also to assess the clinical setting for the purpose of future planning for Egyptian junior teaching staff in Japan.

3. Scientific Activities:

- a. Reestablishment of the Curriculum Committee with the purpose of revising and modifying the existing curriculum.
- b. A symposium on Curriculum Revision (Why & How?) was held in September, 1994.
- c. A workshop on "The Process of Curriculum Revision & Modification" is being planned to be held on the third week of March, 1995.

4. Developing resources for Clinical Training in each department e.g. books, training devices, stationary).

Constraints:

- a. Absence of suitable places to meet and function properly.
 - b. Absence of a well trained administrative supportive staff to help in the ongoing project.
- A bidding with the rules and regulations of JICA, no staff member is allowed to be paid for any activities or tasks involved in the project regardless the amount of time and efforts it would take.

The Japanese Tech. Coop. Project
High Institute of Nursing
The Second Bi-Annual Report
(April , 1995)

Achievement

{A} Equipment

1- Automated control system is established and on trial operation. Preliminary indications of effectiveness are evident. A programmer consultant is still working on finalizing the system.

2- PCs with printers for each department are in operation.

3- Lists of books requested in summer of year 1994 are still in the process of being purchased.

4- A Sherokee car (7 Seats) was purchased .

5- Donated supplies for some of the scientific departments & skill lab. helped in the training of students.

{B} Exchange of experts / training

1- On the Egyptian side, five (5) teaching staff were sent to Japan the period of Sept. - Dec. 1995 in the areas of library management, video film editing, and community health are currently implementing new systems in the different areas of expertise mostly evident in the library area.

2- On the Japanese side (4) experts representing the areas of medical-surgical nursing, community nursing, and pediatric nursing, were dispatched. The purpose was to attend the workshop on " Curriculum Review, Directive phase" held in March, 1995

{C} Scientific activities

1- Activities of Curriculum Committee are continued for the purpose of proceeding into the following phases of curric. Revision

2- A workshop on " Curriculum Revision, Directive phase" was held in March, 1995.

3- A workshop is to be held in Dec. 1995 on " developing the conceptual framework for the curriculum.

4-Seminars on clinical teaching skills for teaching staff members are to be conducted in the period of May, 1995

Constraints

1- Absence of a well trained supportive administrative staff.

2- Unclear future budget statements contributed to difficulty of planning each phase of the project.